

科目名	国語Ⅲ JapaneseⅢ			担当教員	坂本 具償		
学 年	3 年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分 野	一般	授業形式	講義	科目番号	13120024	単位区分	履修単位
学習目標	1. 現代文や古典の読解を通して、他人の物の見方や考え方を知る。 2. 正しい日本語で表現するための基礎を身につける。						
進め方	講義形式を基本とする。予習・復習に努めてほしい。また、意見を書いたり発表したりしてもらうことがある。原則として週に1回漢字小テストを実施する。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	※全体ガイダンス(1) 1. 評論(13) (1) 病と科学(柳澤桂子) (2) 愛を言う君（俵万智ほか）			・科学によって病気というものの見方について生じた変化を理解し、かつ医学の問題点を理解し、生命についての考えを深めることができる。（病と科学） ・表現をもとに、そこに描かれている情景や作者の心情を思い描くことができる。（愛を言う君） A－1			
	[前期中間試験](2)						
	※試験解説(1) 2. 表現(13) (1) 国語表現の実践 ア. 文体を統一 イ. 事実を客観的に ウ. 推敲 エ. 段落分け オ. 議論文 カ. 手紙文			・正しい日本語で表現するための基礎的事項を理解することができる。 D－1			
	前期末試験						
	※試験解説(1) 3. 漢文(13) (1) 『論語』抜粋 (2) 『孟子』抜粋 (3) 『荀子』抜粋			・返り点の原則に従って原文を読み、書き下し文にすることができる。 ・『論語』『孟子』『荀子』の各節の内容を理解し、現代語に訳すことができ、それぞれの違いを理解することができる。 A－1			
	[後期中間試験](2)						
	※試験解説(1) 4. 小説(13) (1) ころも（夏目漱石）			・主人公「私」の心理の変化を順に整理して捉えることができる。また「K」がなぜ自殺したかについて自分の意見が言える。 A－1			
	後期末試験						
試験返却(1)							
評価方法	1. 評価の内訳：漢字小テストの成績を10%、演習問題・読書ノート・夏休み課題文等の提出物を15%、定期試験を75%とする。 2. 学習項目ごとの全体評価への重みは、1～4のそれぞれについて、各25%とする。						
履修要件	特になし						
関連科目	国語Ⅰ（1年）→国語Ⅱ（2年）→国語Ⅲ（3年）→文学特論Ⅰ（4年）→古典文学（専攻科2年）						
教 材	教科書：新編現代文改訂版 三省堂 柴田武他編 問題集：新編現代文[改訂版]課題ノート 三省堂 新編現代文編集委員会 教科書：新編古典 筑摩書房 鈴木日出男他編 漢 字：級別漢字学習4級～2級 東京法令出版 赤羽靖他 表 現：基礎からの国語表現の実践 京都書房 樺島忠夫・佐竹秀雄共著 辞 書：電子辞書等（国語辞典 古語辞典 漢和辞典）						
備 考	欠席等によりレポートを提出できなかったり、小テストを受けられなかったりした場合は、復帰後、速やかに指示を受けに来ること。						